

「My じんけん宣言」 1月号 ～「こころの扉」を少し開いてみませんか～

就寝中に激しい耳鳴りに襲われ、耳鼻科を受診しました。検査後に先生から「最近、急激に痩せましたか」という予想外の質問に、耳鳴りとどんな関係があるのか尋ねると「これはダイエットなどで急激に痩せた人になりやすい症状です」と言われ、補聴器を勧められました。時間が経てばよくなるのではと軽く考え「様子を見て決めましょう」ということになりました。しかし、症状は回復するどころか次第に悪くなり、耳が塞がれた感覚で聞きづらく自分の声や車の音が頭の中で反響し、相手の話し声が聞き取りにくくなってしまいました。

現在、補聴器を使っていますが、聞き違いや聞き漏れも多く日常会話に支障をきたしています。そこで、周囲の方に配慮を求めるヘル

プマークを市の福祉課に申し込んで身に付けました。しかし、家族や出会う人からは「それは何？」と聞かれ、説明することもありました。私たちの周りには、いろいろな標識や記号がありますが、その記号が表している意味を理解していなければ、本来の目的を果たせません。ヘルプマークは、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が身に付け、周囲に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくするものです。しかし、周りの人がその意味を知らなければ困りに気付いてもらえず、配慮が得られずに苦しい思いや、体調の急変時や災害時に適切な対応を受けられるか不安に思う人もいると思います。

今回の経験を機会に、あまり知られていないヘルプマークの普及に努めていこうと思っています。皆さん

もヘルプマークを見かけたら、席を譲る、声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

